

# 禁止行為の解除承認申請書

年 月 日

東京消防庁

四谷 消防署長 殿

申請者

住 所

電話 ( )

氏 名

印

火災予防条例第23 条第1 項の規定による指定場所における禁止行為について、解除の承認を受けたいので下記により申請します。

防 火 対 象 物	所 在 地	新宿区霞ヶ丘町4番1号 電話 03 (6447) 5660		
	名 称	日本青年館ホール	用途	16項 (イ)
	関係者住所	東京都新宿区霞ヶ丘町4番1号		
	氏 名	佐々木 計三		
解除の承認 を受けよう とする場所	階	1 階	階 の 用 途	劇 場
	名 称	ホール舞台上	場 所 の 用 途	舞 台
	構 造	SRC造・S造	内 部 の 仕 上 げ	耐 火 造
解除の承認 を受けよう とする行為	種 類	喫煙・裸火使用・危険物品持込み		
	期 間	年 月 日から 年 月 日まで		
	理 由			
	内 容			
行 為 者	住 所			
	職 業			
	氏 名			
火災予防上 講じた措置				
※ 受 付 欄		※ 処 理 欄		

- 備考 1 申請者が法人の場合、氏名欄には、その名称及び代表者氏名を記入すること。  
2 解除の承認を受けようとする場所の詳細図及び当該場所付近の概要図を添付すること。  
3 行為者が2人以上の場合は、その所属、氏名等を記載した書類を添付すること。  
4 ※欄には、記入しないこと。

## 申 請 内 容 明 細 書

申 請 場 所	1 階		
責 任 者		防火管理者	松尾 直泰
解除承認を受けようとする行為	概 要		
	〔使用場所〕 使用場面 理 由		
	内 容		
	〔名 称〕 使用量 成 分 性 状 取扱要領		
	行 為 者		
補 足 事 項 等			
火 災 予 防 上 講 じ た 措 置	<input type="checkbox"/> 消火器の設置 [ ___本 位置: _____ ] <input type="checkbox"/> 屋内消火栓の準備 [ _2_口 位置: 舞台 上手下手各1 ] <input type="checkbox"/> 消火担当者の配置 [ ___名 位置: _____ ] <input type="checkbox"/> 消防計画に定める自主検査 [最新実施年月日: _____ ] <input type="checkbox"/> 会場管理計画の作成 <input type="checkbox"/> 訓練の実施 [最新実施年月日: _____ ] <input type="checkbox"/> 始業時、終業時の点検等 [担当者: _____ ] <input type="checkbox"/> 承認行為のチェック [実施者: _____ 時期: ___仕込終了時___ ] <input type="checkbox"/> 防災性能あり [ <input type="checkbox"/> 幕 <input type="checkbox"/> 敷物 <input type="checkbox"/> 大道具 <input type="checkbox"/> その他 ( _____ ) ] <input type="checkbox"/> その他 [ _____ ]		
〔 <input type="checkbox"/> 欄は該当するものをレ印で、アンダーライン部分には該当する内容を記入すること。〕			

備考1 申請場所ごとに作成すること。

2 禁止行為を行う位置、消火器の設置位置等を明記した使用場所の図面を添付すること。  
劇場等及びスタジオの場合は、禁止行為の位置、消火器等の設置位置、消火担当者の位置周囲の状況（可燃物からの距離等）、床面の状況（材質、養生の方法等）、舞台上の人の配置等を明記すること。

3 必要に応じて性能等に関する資料を添付すること。

## 会場管理計画

ホールにおいて禁止行為解除承認を受けて催物を行う場合は、下記事項を守り火災予防ならびに人命安全につとめる。

### 記

#### 第1.防火管理対策

1. 設置されている下記消防用設備等を適正に管理する。

- |               |                  |
|---------------|------------------|
| (1) 消火器       | (5) 避難口誘導灯、通路誘導灯 |
| (2) 屋内消火栓     | (6) 排煙設備         |
| (3) スプリンクラー設備 | (7) 防火扉          |
| (4) 自動火災報知設備  |                  |

2. 主催者に対し、下記事項を徹底させる。

- (1) 危険物品あるいは、裸火の持込量ならびに取り扱い方法は、承認どおりとする。
- (2) 持込幕類及び大道具は、防災処理済のものを使用する。
- (3) 危険物品付近に消火器を設置させる。

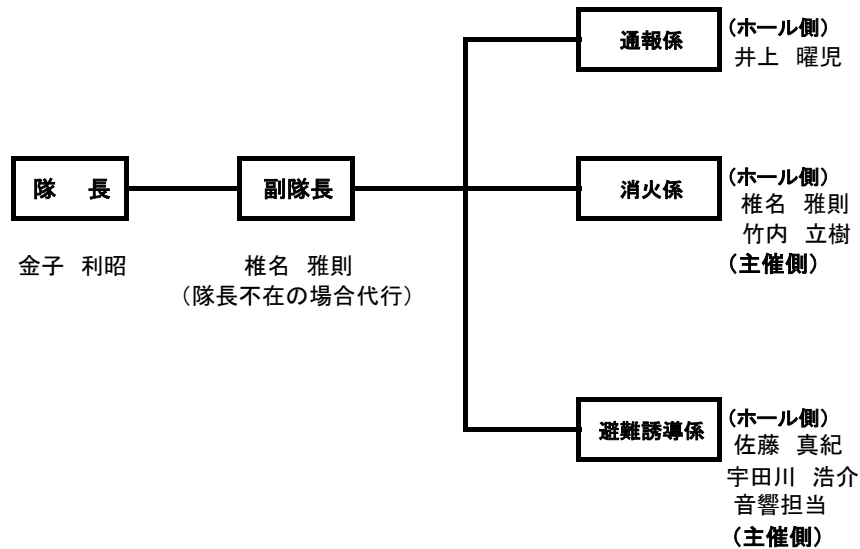
3. 承認条件と異なる取り扱いをした場合は、直ちに主催者にその行為を中止させる。

4. その他

- (1) 通路、出入口、避難口付近には避難上障害となる物品を置かない。
- (2) 収容人員は、定員以下とする。(定員1249名)

#### 第2. 自衛消防対策

公演中は、次の様に主催者を含めた自衛消防組織を編成する。



# 物品販売申請書

年 月 日

日本青年館ホール殿

社名  
 申込者： 印  
 TEL :

※下記の販売者のみが物販を行えます。(太枠のみ記入)

社名	ご担当者	ご連絡先	住所	販売日	卓数	品目	

- 1・物販手数料・・・1卓10,000(税別) 物販設営前に、現金を事務所にお支払いください。  
 長期連続使用の場合はご相談ください。
- 2・連続物販される方は、日数×卓数を頂戴いたします。
- 3・物販販売で出たゴミは段ボール等も含め、全てお持ち帰りください。
- 4・使用した備品は現状復帰してください。

<ホール使用欄>

支配人	受付担当印